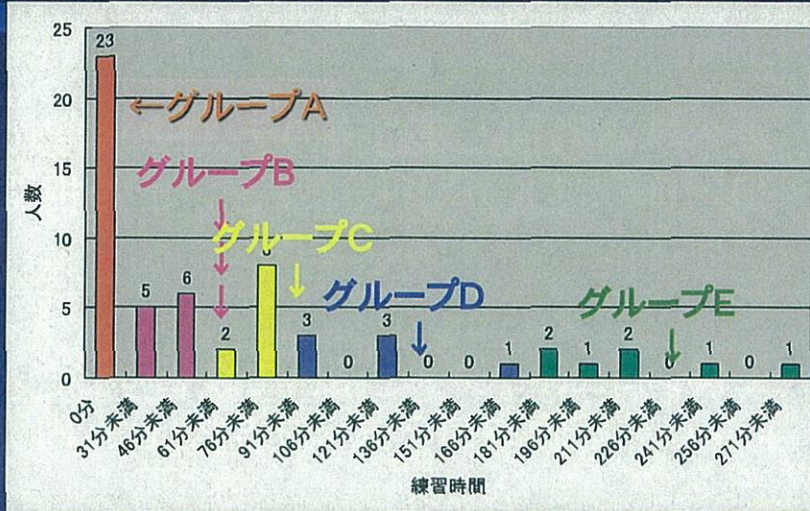
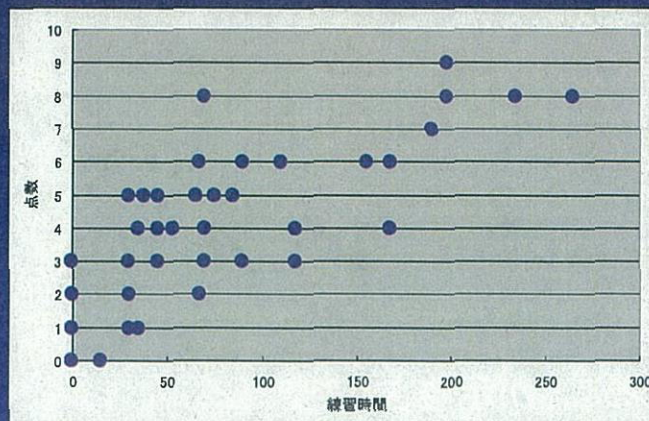


参加者の練習時間の分布



延べ練習時間とテストの点数との関係①

練習時間と点数の関係



延べ練習時間とテストの点数との関係②

- 延べ練習時間と練習後のテストの得点の相関係数は $r=0.819$ で、強い正の相関関係があった。
- 生体シミュレーターを用いて練習することにより心音聴取のテストの点数は向上した。

結論

- 生体シミュレーターを用いて心音聴取の練習を行うことは、心音の聞き取りの訓練に有効であると考えられた。
- 練習の効果は、練習時間によって異なり練習時間76分未満では習得率が高くなり、76～166分未満では習得率に変化はなく、166～271分未満で再び習得率が高くなった。
- 心音の種類によって、習得するのに必要となる練習時間が異なるため、心音の種類によって練習時間の配分を変えて練習することが有効であることが示唆された。